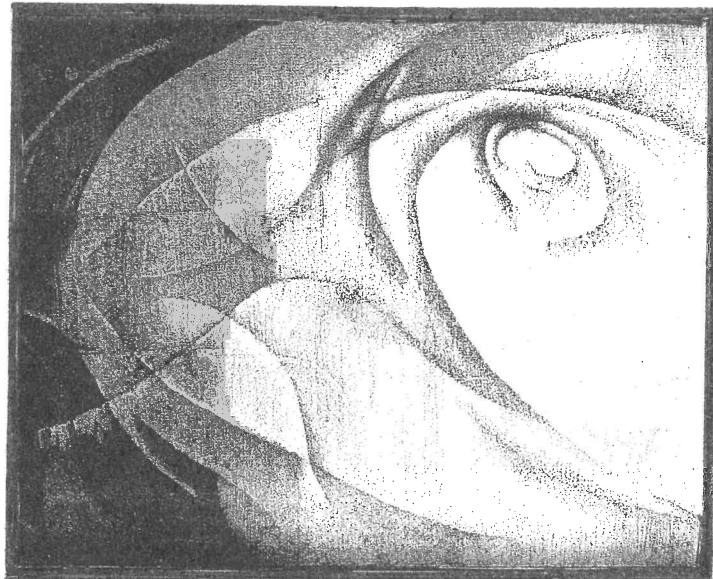


2000. 5
霊性センターニュース
144号



霊性センターカルメル

断想(148)

ヘンリーナーウエン「旅路の糧」(22)

みことばのひびき

詩

フォコラーレニュースより

諸所の企画についてのご紹介

短歌

お願い

〒611 京都府宇治市木幡御藏山39-12

宇治聖テレジア修道院(黙想)

TEL 0774-32-7016

FAX 0774-32-7457

靈性センターカルメル

1. 聖書深読黙想会

(1)上野毛聖テレジア修道院（黙想）(2000年黙想会年間スケジュールのページを
ごらんください)。

(2)宇治聖テレジア修道院（黙想）（2000年黙想会年間スケジュールのページを
ごらんください)。

(3)名古屋（比野教会）

日時：5/27（土）～5/28（日）

連絡：小林 厚 〒465-0058名古屋市名東区貴船3-2115

(4)大分聖テレジア修道院（黙想）

連絡：富田恵子 〒870-1125 大分市上宗方1803-3 TEL. 0975-41-4012

(5)a. 通信聖書深読

朝日カルチャーセンター（東京新宿）が通信講座のなかに『聖書深読』を
組み入れてくださることになりました。ご希望の方は下記にご連絡ください。

連絡：戸張由美子 〒163-0201東京都新宿区住友ビル 私書箱22

「聖書深読法の生いたち」（奥村一郎）。オリエンス宗教研究所出版。

定価 1000円。下記に直接ご注文下さい。3冊以上注文されれば、20%引。

オリエンス宗教研究所

FAX. 03-3325-5322

〒156-0043 東京都世田谷区松原2-28-5 TEJ. 03-3322-7601

b. 聖書深読（通信） *有光信子 連絡TEL. FAX. 0798-67-8132

5/14. 復活節第四主日 ヨハネ 10.12-18

6/11. 聖霊降臨 ヨハネ 20.19-23

7/9. 年間14主日 マルコ 6.1-6

9/10. 年間23主日 マルコ 7.31-37

10/8 年間第27主日 マルコ 10.2-16

11/12 年間第32主日 マルコ 12.38-44

2. 聖書と念祷の集い

指導 星野神父

日 時：5/6・5/27（各、土）3:30～ *急に変更になる

こともあります。その時は各自念祷をして御帰りください。

2000年 カルメル修道会東京・上野毛聖テレジア修道院（黙想）

§ 黙想会年間スケジュール §

1. 信徒と奉献生活者のための個人指導黙想会

スタッフ 星野正道師、福田正範師（以上カルメル会）

Sr. 中川享子（ケベックカリタス会）、他

(1) 6月 1日（木）4時から10日（土）朝食

(2) 10月20日（金）4時から29日（日）朝食

全期間参加の方優先ですが二泊からの部分参加も可能。

詳しくは申込用紙を御請求ください。

2. 奉献生活者のための黙想会

(1) 7月24日（月）4時から8月2日（水）朝食 福田正範師

(2) 8月11日（金）4時から20日（日）朝食 山田裕於師

(3) 12月26日（火）4時から翌年1月4日（木）朝食 福田正範師

3. 聖書深読黙想会：次の各土曜の夕食から日曜の16時30分まで

(1) 4月15日から16日 奥村一郎師（了）

(2) 7月 1日から 2日 ”

(3) 9月30日から10月1日 ”

(4) ~~11月25日から26日~~ ”
9月 2日から 3日

(5) 12月16日から17日 星野正道師

2001年

(6) 1月27日から28日 奥村一郎師

(7) 3月31日から 4月1日 星野正道師

4. ウェンズデイ・リトリート スタッフ：星野正道師

「キリスト教再確認」（音楽瞑想、講話、分かち合い、ミサ、etc.）

(1) 5月17日（水）10時から16時

(2) 6月14日（水） ”

(3) 7月 5日（水） ”

(4) 10月11日（水） ”

(5) 11月 1日（水） ”

5. ウィークエンド・リトリート

新井延和師（カルメル会）

（最初の日の夕食をすませてから集合。どなたでも参加できます。）

- (1) 4月28日（金）20時から30日（日）15時 「復活」
- (2) 10月13日（金） “ 15日（日） “ 「アビラの聖テレジア」

6. 特別企画黙想会：いづれも通可

- (1) 5月 9日（火）夕食から11日（木）昼食 アロイジオ師
- (2) 12月 1日（金）夕食から 3日（日）昼食 チプリアノ師
- (3) 2001年1月16日（火）夕食から18日（木）昼食 奥村一郎師

7. 大祭日のミサにあずかるために：チェックイン 午後3時から

（講話なし） チェックアウト午前10時まで

- (1) 復活祭 4月22日（土）夕食なし～23日（日）朝食
- (2) クリスマス12月24日（日）夕食なし～25日（月）朝食

以上、1. から7. までの申込はカルメル会上野毛聖テレジア修道院へ。

皆さんが企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたします。

カルメル会上野毛聖テレジア修道院（黙想）

〒158-0093 世田谷区上野毛2-14-25

TEL. 03-5706-7355 お急ぎの場合 03-3704-2171

FAX. 03-3704-1764

8. 青年黙想会（35歳までの男女）

スタッフ：カルメル会士

- (1) 5月13日（土）16時から14日（日）16時

希望者には5月12日（金）20時から始まるプログラムもあります。

その場合は最初の日の夕食をすませてから集合してください。

- (2) 11月 3日（祭・金）12時、昼食から 5日（日）16時

青年黙想会のお問い合わせ、申込はハガキかFAX で下記まで。

〒158-0093 世田谷区上野毛2-14-25カルメル会

青年黙想会担当神学生 FAX. 03-3704-1764

T. T. クラブ

～10代・20代の 青年たちの集い～

カルメル会で10代・20代の青年たちの集い『T. T. クラブ』を行っています。このクラブの特徴は、福音や、現代の話題を使って、祈り、お互いの話を聞く、自分の意見を話す、また伝わってくるものを感じ取る、自分の感性を表現するということを中心に行きます。その中で、お互いの神様から頂いた“宝”を発見し、よりよく人々と共に生きていく可能性をさがしていければと願っております。

ぜひ、参加してみてください。わたしどもスタッフは心からお待ちしております。

- 第36回 3月25日 (土) 「歌謡曲で祈る パートI」
- 第37回 4月 1日 (土) 「新聞で祈る」
- 第38回 4月15日 (土) 「主の祈り」
- 第39回 5月 6日 (土) 「政治」
- 第40回 5月27日 (土) 「安息日一忙しさからの解放」

- 第41回 6月10日 (土) 「こんぴゅーたー」
- ~~第42回 6月24日 (土) 「洗者ヨハネから学ぶ」~~
- 第43回 7月 1日 (土) 「パンクエット」
- 第44回 9月 9日 (土) 「歌謡曲で祈る パートII」

- *時間 いずれも P.M.7:00 から P.M.9:00 まで
- *対象 10代・20代の青年たち
- *スタッフ カルメル会士
- *場所 カトリック上野毛教会 信徒会館 1F
- *プログラム
 - 7:00～7:15 はじめの集い みんなで讃美歌を歌うetc.
 - 7:15～7:30 テーマの解説
 - 7:30～8:00 祈りの時間 (沈黙の祈り) 聖堂や会館で
 - 8:00～ 祈ったこととの分かち合い
- 9:00 解散
 - カトリック教会のカテキズム
 - ともに祈る時

カルメル修道会

T. T. クラブ 係

〒158-0093 世田谷区上野毛2-14-25
Tel. 03 (3704) 2171



修道生活、司祭生活を考える若者の集い

NO. 15

この修道生活、司祭生活を考える若者の集いも皆さんのご協力で小さなあゆみをつづけております。この集いは特定の修道会へのおそいの集まりではありません。教会生活を送って行く中で今までとはちがう生き方もあるのではないかと、思っている若者がひとりぼっちでひざをかかえているのはよくない、同じように感じている仲間と出会い、ともに祈りながらあゆんで行けたら何かが見えてくるのではないかと、ということで始まりました。もし君がそんなひとりだったらぜひ来てみませんか。

*日時 5月21日(日) 10時から16時まで、昼食は各自お持ちください。

*対象 30才くらいまでの独身男女青年

*スタッフ カルメル会司祭 星野正道

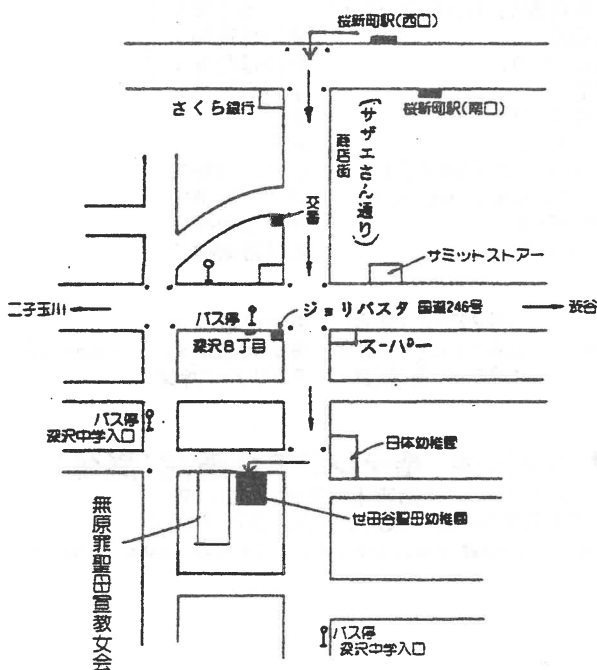
*費用 1000円

*内容 主日ミサ、講話、質問コーナー、個人面談等

*持って来るもの 聖書、ロザリオ、筆記用具、昼食等

*連絡先 158-0093 世田谷区上野毛2の14の25 男子カルメル修道会
星野正道神父 TEL 03-3704-2171 申し込みの必要はありません。

*会場 無原罪聖母宣教女会修道院 158-0081 世田谷区深沢8の13の16
東急新玉川線桜新町下車 TEL 03-3701-3295



〈地下鉄〉

□ 渋谷駅より
新玉川線(二子玉川園方面)
桜新町下車 徒歩12分

〈バス〉

□ 渋谷駅より 南口
18番のりば(新道経由)
二子玉川園行) いずれも
高津営業所行) 深沢8丁目下車
徒歩3分

〈バス〉

□ 東横線都立大駅より
成城学園駅行 深沢中学入口下車
徒歩1分

□ 目黒駅より 深沢中学入口下車
弦巻営業所行 徒歩1分

無原罪聖母宣教女会
〒158-0081
東京都世田谷区深沢8-13-16
☎ 03-3701-3295

2000年 大聖年 黙想会 案内

CARMEL

聖書深読黙想会

1月15日(土)6:00PM ~ 16日(日)午後	奥村一郎神父担当了
2月 5日(土)6:00PM ~ 6日(日)午後	中川博道神父担当了
4月15日(土)6:00PM ~ 16日(日)午後	中川博道神父担当了
5月27日(土)6:00PM ~ 28日(日)午後	新井延和神父担当
7月 8日(土)6:00PM ~ 9日(日)午後	奥村一郎神父担当
12月2日(土)6:00PM ~ 3日(日)午後	新井延和神父担当

男子青年のための黙想(高校生以上~35歳まで)

6月 3日(土)5:00PM ~ 4日(日)4:00PM	カルメル会士担当
11月25日(土)5:00PM ~ 26日(日)4:00PM	

女子青年のための黙想(高校生以上 ~ 35歳まで) 中川博道神父・カルメル宣教修道女会

2月20日(日)一日黙想 10:00AM~4:00PM了
5月20日(土)5:00PM ~ 21日(日)4:00PM
11月18日(土)5:00PM ~ 19日(日)4:00PM

一般のための黙想

・週末黙想	1月29日(土)5:00PM ~ 30日(日)4:00PM	中川博道神父了
	5月13日(土)5:00PM ~ 14日(日)4:00PM	奥村一郎神父(但し男性のみ)
	6月17日(土)5:00PM ~ 18日(日)4:00PM	北村善朗神父

・日曜一日黙想	10:00AM~4:00PM	中川博道神父了
	4月9日(テーマ)『復活』	
	11月5日(テーマ)『日常生活の中の三位一体』	

・幼いイエスの聖テレジア黙想		伊従信子氏(ノートルダム・ド・ヴィ)
(テーマ)『大聖年の恵みを生きる』	テレーズと共に「愛に生きる」	
	9月30日(土)4:00PM ~ 10月1日(日)3:00PM	

・2泊3日の黙想		伊従信子氏(ノートルダム・ド・ヴィ)
(テーマ)『大聖年の恵みを生きる』	テレーズと共に(慈悲の愛に身をささげた記念日に)	
	6月9日(金)PM4:00~11日(日)PM4:00	

・グレゴリオ聖歌黙想会		花井哲郎氏・中川博道神父
	12月1日(金)4:00PM~12月3日(日)4:00PM	(合唱経験者対象)

・木曜 黙想会	10:00AM ~ 4:00PM	
	1月20日	一年の霊的歩みのプログラム 中川博道神父了
	2月17日	四旬節 中川博道神父了
	3月16日	聖ヨゼフの月 新井延和神父了
	4月20日	復活 中川博道神父了
	5月18日	聖母マリア 未定
	6月15日	イエスの聖心 未定
	7月13日	カルメル山の聖母マリア 新井延和神父
	10月26日	祈り:アビラの聖テレサをとうして 中川博道神父
	11月16日	待降節・死 新井延和神父
	12月12日(火曜日)	クリスマス 北村善朗神父

奉献生活者の黙想

7月24日(月)5:00PM ~ 8月2日(水)朝食	中川博道神父
8月 5日(土)5:00PM ~ 8月14日(月)朝食	金子尚志神父(フランシスコ会修練長)
12月27日(水)5:00PM ~ 1月5日(金)朝食	チブリアーノ神父



宇治カルメル会 聖テレジア修道院(黙想)

〒611-0002 宇治市木幡御蔵山39-12
Tel 0774-32-7016 / Fax 32-7457

最寄の駅:JR奈良線 木幡駅 or 六地藏駅 / 京阪宇治線 木幡駅 or 六地藏駅

2000 カルメル会 黙想会

特別企画黙想会

“わたしたちは神の子である”

— 使徒ヨハネの第一の手紙についての黙想 —

指 導 カルメル会 アロジオ師

* 日 時 5月9日(火)夕食 ~ 11日(木)昼食

* 費 用 ￥12,000 (通い可 ￥10,000)



カルメル会上野毛聖テレジア修道院(黙想)

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-14-25

TEL 03-5706-7355 (お急ぎの方は、03-3704-2171)

FAX 03-3704-1764

2000年度 東京カルメル在俗者会 黙想会

場 所 カルメル会上野毛聖テレジア修道院(黙想)

日 程

ご指導

- ・ 6月15日(木)夕食 ~ 6月18日(日)昼食 チブリアノ神父様
- ・ 8月24日(木)夕食 ~ 8月27日(日)昼食 アロジオ神父様
- ・ 9月14日(木)夕食 ~ 9月17日(日)昼食 星野 正道神父様
- ・ 10月 2日(月)夕食 ~ 10月 5日(木)昼食 チブリアノ神父様
- ・ 11月16日(木)夕食 ~ 11月19日(日)昼食 福田 正範神父様

☆空きがある場合には、一般の方も参加できます。おたずねください。

☆お申込み、お問合わせは下記まで

TEL&FAX 045-562-2296 (永瀬)

宇宙の子守唄(7) チビッコ哲学者 (1)

決まってなければいい

四年 岩月 美弥子

2 + 3 = 5 5 + 4 = 9

決まってなければいい

決まってない世界!

空は、千色の色がまざっていて、
土は、九千色の色がまざっていて、
女の子は、おとなしく、しとやかに
なんて決まってなければいい
もしそんな所があったらすっとんでいく。

(聖母短大児童文学研究会)

しょっぱなから驚かされたのは、次の言葉。

2 + 3 = 5 5 + 4 = 9

決まってなければよい 決まってない世界!

というのも、中世カトリックの大神学者トマス、アキナスの「神学大全」という著書のなかに、全く同じ問題を取りあげられているからである。2 + 3 = 5、さらに、円はいつも丸いというようなことは、不変の真理に違いない。しかし、その永遠性と普遍性は、その事柄自体の本質ではなく、永遠の神である創造主に由来する、という。学問的用語でいうと、ひどく難しくなる事柄が、子供の瑞々しい発想と全く軌を一にする真理。単に、数字の偶然というだけのものではない。学者と子供、それも、東と西との見事な出会い。さらにいえば、「天地は過ぎ去る。しかし、わたしの言葉は過ぎ去らない。」という、キリストの言葉にも通じる。(マタイ 24、35) まさに、子供の問いは、天にまでとどくといえよう。宇宙の果てにまですっとんでいく現代っ子。ジャンヌ、ダルクのような、男勝りの小さいやまと撫子(なでしこ)。こうした子供がいる限り、わたしは日本の未来に失望しない。果てしない大空に咲く曼珠沙華を見る思い。神に栄光あれ!

参照 トマス、アキナス「神学大全」第1部、問題16、7-1つづく

ヘンリ・ナーウエンの『旅路の糧』(22)

裁かない存在

私たちがキリストを通して神と和解したのだということを受け入れる度合いに応じて、私たちは、他者にとって和解のメッセンジャーとなりうるのです。和解のわざに欠くことのできないことは、裁かない存在であるということです。私たちがこの世に派遣されているのは、人を裁くためでも、人を非難するためでも、評価を下すためでも、ランクづけをするためでも、人にレッテルを貼るためでもありません。私たちが、他の人々について評価を下し、どの点が悪く、どのように改めねばならないか告げることが、使命でもあるかのように行動するならば、分裂はさらに広がるだけでしょう。イエスは、はっきりと言っておられます。「あなた方の父が憐れみ深いように、あなた方も憐れみ深いものとなりなさい。人を裁いてはならない…人を罪人と決めつけてはならない。…赦しなさい」(ルカ 6:36～37)。

この世は絶えず、私たちに他の人々について評価を下すように求めてきます。その中で裁かない存在であることは、ほとんど不可能のようにも思われます。しかしそれは、深い霊的生活の最も美しい実りのひとつであり、和解を待ちこがれている人々には、すぐそれと分かるのです。(1227)

他の人々にとって安全な場となること

私たちが人を裁いたり断罪したりする欲求から自由になった時、私たちは初めて、人々にとって安全な場となり、傷つきやすい魂の次元で他者に出会い、互いを隔てている壁を取り壊すことができるのです。私たちが深く神の愛に根づくならば、互いに愛し合うよう、人々を招かざるを得ないでしょう。私たちが、ひそかなたくらみや人には明かさないもくろみを何も持っていないこと、私たちが自分自身の利益を得ようとしているのではないこと、私たちの唯一の望みは平和と和解であることに、人々が気づくならば、その時彼らは、銃を戸口に置き、中へ入って敵と言葉を交わす内的自由と勇気を見出すことでしょう。

しばしばこのことは、私たちの思惑とは無関係に生じます。和解のわざは、私たち自身がほとんどそれと気づかない時に、たいてい生じています。私たちの、単純な人を裁かない存在がそれを可能とするのです。(1228)

スペインより 九里 彰訳

復活節第3主日

「甦ったイエスは甦りの力を我々と共に我々を通して他の人々と
分かち合う」(使徒行録3：13～15, 17～19)

グレハム・スタイン氏はインドで長い間働いているオーストラリア人宣教師でした。オリッサ州の村で働き、神の御言葉を家々に伝え、ライ病院でも働いていました。下層の人々と共に目覚しい働きをしていました。

1999年1月、ヒンズー過激派によるキリスト教徒迫害がありました。過激派はグレハム・スタイン氏の立派の仕事を我慢できませんでした。ある日、スタイン氏が10歳と6歳の子供を連れて村へ向かっていました。彼の運転するジープがヒンズー過激派のいるところにくると、彼らはジープを襲い、無垢な子供もろとも火をつけました。スタイン氏は子供の悲鳴を聞きながら助けることが出来ませんでした。死ぬ間際に、祈りながら頭を上げて「あれほど無垢なイエスが我々罪びとのために死なれ、イエスは今もこの世に生きておられるのだから、私たちはキリスト教の兄弟たちがインドで生きていけるように死のう。」と言いました。

彼の妻のグラッド・スタインもこの恐ろしい現場を見てこう叫びました。「神様、あなたは私が今味わっている苦しみを決しておわかりにならないでしょう。私の身に起こったことが甦ったキリストをあなたたちの生活の中心に置くのでなければ、友である皆さんの誰にも再びこういうことが起きないことが私の希望、望みです。」

今日の第一朗読である使徒行録の中でペトロは甦ったキリストをあかししています。私が上述の出来事の中でグレハム氏と妻が行ったことの中に見出すのも同じものです。彼らは本当に甦ったキリストの力をあかししています。

イエスをあかしすることは2000年前に生きたこの偉大な人物の人生について人々に語る以上のものです。イエスをあかしすることは、イエスが甦ったと証言すること、また私たちの生活によって証言すること以上のものです。すなわち、イエスが私たちに触れ、もっとも目覚しい方法で私たちを変えてくださったとあかしすることです。イエスをあかしすることは私たちを通してイエスに語ってもらうことなのです。

(Beatrice)

復活節第4主日

よい羊飼

(ヨハネ10:11~18)

フィレンツェのアカデミア美術館にはミケランジェロのダビデ像があります。ダビデがゴリアテに立ち向かって行く姿を表現しています。サウルはダビデが巨人のゴリアテにとっても立ち向かうことは出来ないと思い、引き止めようとするのですが、ダビデは「私は羊を飼う者です。獅子や熊が出てきて群れの中から羊を奪い取ることがあります。そのときには、追いかけて打ちかかり、その口から羊を取り戻します。向かってくれば、たてがみをつかみ打ち殺します。私は獅子も熊も殺してきたのですから、あの無割礼のペリシテ人も倒せます。」と言って、石投げ紐に石を入れゴリアテの前に出ます。ミケランジェロはダビデがゴリアテに最高の集中力で立ち向かう姿を見事に表現しています。

ダビデは獅子と戦うときも、熊と戦うときもこのように勇ましく戦ったのでしょ。彼は羊を見捨てて逃げるようなことは決してしなかったことでは。羊をよく知り、羊のことをいつも心にかけていました。

ところで最高の羊飼であるイエス・キリストはどのようにして敵と戦ったのでしょ。命を捨てることによってです。キリストは命を再び受けるために捨てるとおっしゃいます。キリストは命を奪われたのではなく、進んで私たちのためにお捨てになりました。父である神はキリストの死に至るまでの従順を見て、キリストを深く愛して下さるのです。

死と言う敵、人類の罪の結果である死はゴリアテよりも大きく、強いものです。キリストはダビデのように武器を持って死を倒したのでなく、御自分自ら死ぬことによって、そして復活することによって死を倒されたのです。キリストは弱い人間と同じ姿をとり、死さえ私たちと共にされました。敵はキリストが死んだとき勝ったと思ったことでは。しかしキリストは再び命を得るために捨てたのでした。闇は光を知ることなく、光がどのように闇に打ち勝つのか想像も出来なかったのです。

(新井)

復活節第5主日

「私があなたたちの中にいるように私の中にいなさい。

私を離れてあなたたちは何も出来ない」

(ヨハネ15：1～8)

イエスの生活の秘密は神との接触にありました。しばしば神と会うためにさびしい場所に退きました。今日の福音の中でイエスはイエスとの接触を保つように言っています。このことは慎重に事を運ばないと出来ません。キリストの中にあるとは日常の活動、祈りと沈黙において、イエスを忘れる日が一日もないように、いつも接触を保つことです。日常の生活を肉体的に健康に送るためには力を与えてくれる食物を取る必要があります。同様に霊的生活を生きるためには祈りを通して力をもらう必要があります。イエスとの真の交わりは他の人々とのよりよい関係を持つ助けになります。

「私はぶどうの木、あなたがたはその枝である。人が私につながっており、私もその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。私を離れてはあなた方は何もできないからである。」わたしたちがイエスと一致していれば、その一致が実のなる枝を生み出します。私たちが多くの実を結ぶとき神は栄光を受けます。キリスト教生活の最大の栄光は、私たちの生活と接触によって神に栄光をもたらすことができるということです。今日の人々がイエスを見出すとしたら、私たちが彼らにイエスを見えるものにしなければなりません。

教会の交わりの中での主との一致もとても大切です。水牛のような強い動物でも群れの中にいっしょにいると危害を加えないそうです。しかし群れののけ者が一頭でいるときに出くわすなら注意するように言われます。凶暴で、攻撃してくるかもしれないからです。人間も同じことです。一匹狼、のけ者になっている人が犯罪を犯しがちです。人間としての調和を伸ばすためには、帰属の意識が必要です。単独の人は不十分です。教会は人々が集うところです。教会は御聖体に用いるパンとぶどう酒のようなものです。何百と言う麦とぶどうの粒が集められ、ホスチアを作ります。私たちも同じことであって、相互に一致することによってのみイエスの教会となるのです。そして私たちはイエスの教会を世に見えるものとするのです。

今日の福音の文章が語ることはキリスト者がキリストのうちに暮らし、キリストに自分の中に住んでもらわなければならないと言うことです。キリスト者と主イエスの間に一対一の関係があるはずで、これは他の人々とよい関係を持っていて初めて可能なことです。他者に人間的に開かれていることが超越神とイエス・キリストに開かれる条件なのです。

(Beatrice)

復活節第6主日

「互いに愛し合いなさい」

(ヨハネ15:9~17)

「互いに愛し合いなさい」は、主が残されたただひとつの新しい掟です。

「自分を愛するように隣人を愛せよ」と言う古くからある律法の掟とどこが違うのでしょうか。大きな違いは主の掟には相互性があることです。非常に簡単に言ってしまうと、一方向の愛には裏切られても傷つくことがそれほどありませんが、相互愛だと傷つくことがある、しかもひどく傷つくと言うことです。

詩篇には友によって傷つけられた嘆きがいくつも見られます。38編21節、35編12節には「善意に対して悪意を持って答えます」という嘆きが述べられています。これは一方向の愛といえるもので、嘆きはそれほど大きいものではありません。自分は彼らの幸いを願うのに彼らは敵対すると言って敵対するものの不当性を訴えるのが主眼です。

一方、41篇の10節には「私の信頼していた仲間、私のパンを食べるものが威張って私を足蹴にします」とあります。裏切られた苦しみが出ています。特にこの感情が吐露されているのは55篇です。「私をあざける者が敵であればそれに耐えましょう。私を憎むものが尊大に振舞うのであれば彼を避けて隠れましょう。だがそれはおまえなのだ。私と同じ人間、わたしの友、知合った仲。楽しく親しく交わり、神殿の群衆の中をともに行き来したおまえだった。」とあります。深く信頼していた友に裏切られると本当にこたえるものです。勢い、裏切ったものに対する攻撃は激しいものになります。「主よ、彼らを絶やしてください」「死に襲われるがよい、生きながら黄泉に下るがよい」などと言うようになります。

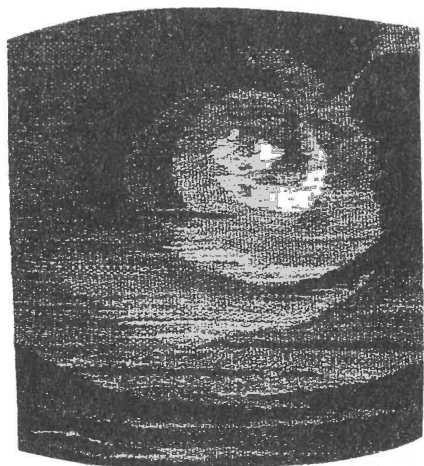
主は「私が愛したように」互いに愛し合えとおっしゃいます。主は裏切ったユダにも決してのろいの言葉は言いませんでした。ただ「ユダよ、接吻で人の子を裏切るのか」と嘆いただけでした。主はこのときどれほど傷ついておられたことでしょうか。裏切ったユダによってだけでなく、逃げてしまった弟子たちによって、また3年間福音を述べ伝えてついに回心しなかったイスラエルの民によって傷ついていました。しかし攻撃的にならず、むしろ十字架上では「父よ、彼らをお赦してください。彼らは自分が何をしているのか知らないのです。」と祈ったのです。私たちはこの愛に与るように招かれています。

(新井)

叔母さんへ

蛭田 幼一

叔母さん、あなたは不倖せだったように見える。生前、僕は何もしてあげられなかった。写真は初老の頃のものだろうか。あなたにも少女時代があった。僕は知らないが、初々しい美しい少女だったろう。そんな少女の姿で戻ってきておくれ。人は神の懷で憩うのが一番倖せなのだ。そこで会おう。今はまだ暗いトンネルの中かも知れない。誰だってそんなトンネルを通るのだ。どうか怖れないで、奔流に身を任せて、目を瞑ひっていてほしい。それが僕のこの世でのあなたへの精一杯の告別の言葉だ。



フォコラーレニュースより

皆がキリストの愛に出会うように

(ヨハネ12・32)

わたしは地上から上げられるとき、すべての人を自分のもとへ引き寄せよう。

このイエスのみ言葉は、素晴らしいものです。ここには、キリスト教の鍵があります。

ユダヤ人の過ぎ越しの祭りが近づいた頃、エルサレムには、礼拝するために大勢の人が来ていました。その中にいた何人かのギリシア人が、「イエスにお目にかかりたい」と頼んできたので、弟子たちがそれを伝えると、イエスは答えて、間近に迫っているご自分の死について話されました。イエスは、ご自分の死によって、弟子たちが散り散りばらばらになってしまうどころか、「すべての人」をご自分のもとに引き寄せる、と言われました。弟子たちだけでなく、ユダヤ人もギリシア人も、イエスを信じるすべての人、種族や社会層、男女の区別なく(*1)、あらゆる人がそこには含まれます。

実際、イエスの救いの業は、すべての人に及ぶものでした。先ほどのギリシア人の存在は、それを表すものだと言えるでしょう。

わたしは地上から上げられるとき、すべての人を自分のもとへ引き寄せよう。

「地上から上げられる」とは、何を意味するのでしょうか。

ヨハネ福音史家は、この表現を、「十字架の上につけられる」こと、「栄光を受ける」ことと同じ意味で使っています。実際ヨハネは、イエスの受難と死の中には、人類に対する神の愛が示されていると考えています。この神の愛は非常に力あるもので、イエスを復活させ、すべての人を彼のもとに引き寄せることができました。こうして「上げられた」キリストの周りには、新たな神の民が一つに集められたのです。

「十字架」と「栄光」、「十字架のキリスト」と「復活のキリスト」とを、切り

離して考えることはできません。両方とも、愛でおられる神の神秘を示すものだからです。

この神の愛が、人々を引き寄せます。十字架につけられ復活されたキリストは、人間一人ひとりの心を深くひきつけ、次の二つの形をとって私たちを引き寄せてくださいます。すなわちキリストは、ご自分の栄光にあずかるよう、私たちを招いておられます。また、ご自分と同じように命を与えるほどの愛で、すべての人を愛するよう、私たちを招いておられます。

わたしは地上から上げられるとき、すべての人を自分のもとへ引き寄せよう。

では私たちは、このみ言葉をどのように生きることができのでしょうか。これほど大きな愛に、どうこたえればいいのでしょうか。

イエスがすべての人のために命を与えられたなら、すべての人がイエスに従うよう招かれているわけです。さらに言うなら、皆が、もう一人のイエスとして生きるよう招かれています。ですから、このような目で、すべての人を見るようにしましょう。人を外側からだけで判断せず、深いところまで及ぶ愛のまなざしをもって、相手を見ることです。

相手がキリスト者、回教徒、仏教徒、また特に信仰を持たない人であっても、皆が、私たちの愛の対象です。相手のために命を与える覚悟を持って、愛しましょう。たとえ実際に命を与える機会はないにしても、自分のエゴに死ぬよう求められることは、よくあるでしょう。

私たちが「自分自身」を十字架につけるなら、すなわち、私たちの中にキリストが生きるよう自分に死ぬなら、私たちの周りにも神の御国が広がっていくのを目にするでしょう。

次のような言葉もあります。「世を征服できるのは、世を愛する人である。しかし、より一層世を征服できるのは、世を愛していることを証しできる人である」と。イエス以上に、世を愛された方がほかにいるのでしょうか。私たちもイエスにならい、見かえりを期待せずすべての人を愛し、隣人に惜しみなく自分を与えるならば、世を愛することができるでしょう。

わたしは地上から上げられるとき、すべての人を自分のもとへ引き寄せよ

う。

では今月は、十字架につけられ復活されたキリストの貴い教えを、心にとめ、実際に生きてみましょう。その教えを通して私たちは、生活の中で出会う苦しみの持つ意味、苦しみからもたらされる素晴らしい実りを、理解することができるでしょう。

私たちは日々、大小さまざまな苦しみに出会います。疑いや失敗、無理解、難しい人間関係、仕事上の問題、病気、災難、深刻な悩みなどです。これらを受け入れ、私たちの愛を証しするものとして、イエスに捧げましょう。

イエスの受難という大海に、私たちの苦しみの一しずくを注ぎましょう。それが、多くの人の善となるようにです。そして、一度自分の苦しみをイエスに捧げたなら、それについてはもう考えないようにしましょう。家庭や職場、学校など、自分の置かれた場で、神様が私たちに望んでおられることを果たすよう努めましょう。そして何よりも、自分の周りにいる隣人を愛するようにしましょう。

イエスはすべての人のために命を捧げてくださいました。ですから、すべての人が彼に従うよう招かれています。私たちの愛を通して、できる限り多くの人が、キリストの愛に出会うことができるようにしましょう。そうすれば、イエスご自身がすべての人を引き寄せてくださり、私たちの間には相互の愛が生まれ、地上のすべての人が互いに兄弟として生き始めるでしょう。

キアラ・ルービック

* 1 ガラテヤの信徒への手紙 3・28

フォコラーレ本部

〒168-0071 東京都杉並区高井戸西1-11-4

TEL. 03-5370-6424

FAX. 03-5370-3055

諸所の企画についてのご紹介

I. ノートルダム・ド・ヴィ (いのちの聖母会)

場 所：〒177-0044 東京都練馬区上石神井4-32-35 Tel(03)3594-2247

*いのちの泉へ 大聖年にあたって新しく歩む祈りの道

- 2000年 5/20. (土) 日常生活の中で祈る。
6/17. (土) 私の内に住まわれる神。
7/8. (土) 洗礼の恵みを深める
10/21. (土) 様々な祈り
11/18. (土) 祈りの難しさ
12/16. (土) 聖性への招き
- 2001年 1/20. (土) 信仰による神との一致
2/17. (土) 感謝(ユカリスチア)の祈り
3/17. (土) 復活への道

講師：伊従 信子(ノートルダム・ド・ヴィ 会員)

プログラム：午後2時～午後5時半。講話、祈り、お茶&質問の時間。ミサ(日曜日のミサ)申し込み：電話(18:00-21:30)・Fax(03)3594-2254。参加費：200円

II. スズランハウス

女性のアルコール依存症、やせ症、摂食障害の経験者とその家族のためのウェルビーイングを研究開発実践する施設。：詳細を知りたい方は、下記へ

〒192-0041八王子市中野上町4-27-4 TEL 0426-28-3222 井口 貴志

III. 風の家

指導：井上 洋治 師(東京教区司祭)

〒169-0042 東京都新宿区西早稲田 3-17-23-903 TEL 03-3204-4453

山根 道公 機関誌『風』編集者

*新住所 〒700-0808 岡山市大和町1-11-17

Tel・FAX 086-227-5665 詳細はお電話でお尋ね下さい。

IV. 生命山カトリック別院

〒865-0133熊本県玉名郡菊水町蜻浦1391-7 TEL.0968-85-3100

黙想会 指導：フランコ神父・園田善昭神父

(1)8月7日(月)～8月15日(火) (2)8月17日(木)～8月25日(金)

開始 17:00時 終了 朝食後

諸宗教対話活動 仏教者との交流 4月29日(土)・6月25日(日)

21世紀に向けて第4回宗教者平和の祈りの集会

*日時：10月8日 午後 *場所 生命山カトリック別院

祈りの集い 年間テーマ「私を見た者は父を見たのである」

(10:00～15:00) .5/11.6/8.7/13.9/14.10/12.11/9.12/14(木)

*このほか、個人、グループでも静修、黙想会などができます。

お申し込みは生命山別院へ

V. 瞑想の家 東光庵

指導：ヨハネ・ウマンス師(神言会) *詳細問い合わせは電話で

場 所：〒166-0004 東京都杉並区阿佐ヶ谷1-38-13 TEL 03-3336-0735

VI. リーゼンフーバー神父による研究会 (1999~2000年)

- ①キリスト教入門講座 日時：金曜日 18:45 ~ 20:30
場所：聖イグナチオ教会信徒会館3階アルペホール
対象：キリスト教を学び、信仰を自分自身の問題として考えたい方どなたでも。予備知識は必要ありません。

2000. 4/28 旧約聖書の神体験—聴くことと見ること
5/12 紙認識の道—理性と認識を通して
5/19 創造された世界—人間存在の根拠と自然の意味
5/26 歴史と信仰—神と人間との出会い
6/2 新約聖書の神理解—主なる父
6/9 祈りによる神理解—神の偉大さと近さ
6/10-11 *黙想会

- ②神学読書会 日 時：毎月第2・第4(第5)水曜日 18:30~20:30
場 所：SJハウス第5会議室 要申込み、定期的参加
対 象：キリスト教の基本的知識を持っている20代~30代の方。

- ③聖書研究会*日 時：毎月第1・第3水曜日 18:30 ~ 20:00
場 所：S. J. ハウス第5会議室
内 容：日曜日の聖書箇所を読んで一緒に考える。どなたでも。
*日 時：木曜日 12:40 ~ 13:25
場 所：上智大学7号館 316号研究室
内 容：新約聖書を1章ずつ読んで話し合います。

- ④坐禅会 日 時：月曜日 17:20~20:10 木曜日 18:00~20:30
場 所：クルトゥムハイム1階左の部屋 3回坐り、間に講話があり。
どなたでも。遅刻、不定期参加も可。

- *接心 2000.5/1 (月) 20:30 ~ 7 (日) 16:00
関東 6/17 (土) 8:00~18 (日) 16:00
8/12 (土) 20:30 ~ 19 (土) 16:00
10/31 (火) 夜 ~ 11/5 (日) 16:00
2000.2/17 (土) 8:30~ 18 (日) 16:00 上石神井 5.400
関西 5/27 (土) 13:00 ~ 28 (日) 16:00 宝塚市①
8/1 (火) 17:30 ~ 7 (月) 13:00 宝塚市②

連絡先：①シスター朝山 TEL. 0727-59-3742 ②岸本 正 TEL 078-583-3067

- ⑤ミ サ：水曜日 17:10~18:00 場所：上智大学内クルトゥムハイム1階右小聖堂

- ⑥黙 想：水曜日 18:00~18:30 場所：(同上)

(ミサ、黙想、共に (8月を除く))

- ⑦祈りの集い：下記土曜日 13:30~16:00 場 所：S. J. ハウス第5会議室
講話、黙想、ミサがあります。

2000年1月8日、2月19日、3月4日

- 8 アガペ会：説明会と集い・右記の 13時30~ .1/22. (20代~40代の信者)

以上、問い合わせ・連絡先：クラウド・リーゼンフーバー神父

〒102-8571東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学 S. J. ハウス

直通電話 03-3238-5124、5111(伝言)、FAX, 03-3238-5056

Ⅶ 三位一体の聖体宣教女会東京修道院

場 所：〒189-0003東村山市久米川町1-17-5 TEL.042-393-3181 FAX 042-393-2407

黙想会「聖書で祈る」

申し込み先…… 佐々木明子

指導：雨宮 慧師（東京教区司祭）

対象：一般信徒

2000, 2月26日（土）5:30P.M.～2月27日（日）4:00P.M.（終了）

6月24日（土） “ 6月25日 “

10月28日（土） “ 10月29日 “

2001, 2月24日（土） “ 2月25日 “

召命を考える祈りの集い

指導：星野正道師（カルメル会）

対象：女子青年信徒

2000, 2月11日（金）10:00A.M.～5:00P.M.（終了）

4月29日（土） “

7月20日（木） “

10月8日（日）5:30P.M.～9（月）4:00P.M. }（一泊になりました）

2001, 2月11日（日）5:00P.M.～12（月）4:00P.M. }

黙想会：2000, 5月30日（火）10:00A.M.～4:00P.M. *対象：信徒のための一日黙想

指導：星野正道師（カルメル会）

大聖年・聖書に親しむ集い

講師：シスターマグダレナ

*対象：信徒

テーマ：2000年に向けて 御父、御子、聖霊との交わり

一秘跡を通して一 毎月最終木曜日 2:00P.M. - 3:00P.M. *7.8.9.12月除いて

キリスト教講座（カトリックの教えを学びたい方）毎木曜日 10:00A.M.～11:30A.M.

十字架の使徒職の集い

*対象：信徒

期 日：第一グループ 毎月第2金曜日（2:00P.M.～3:30P.M.）

第二グループ 毎月第1木曜日（2:00P.M.～3:00P.M.）

両グループ*司祭のために聖体礼拝を捧げます（1:30PM～200PM）

Ⅷ マリアの御心会（明泉会）

場 所：〒160-0012 東京都新宿区南元町6-2

TLE.03-3351-0297

I. 黙想会 担当：シスター今村和子

①聖書深読黙想会 - 主日の福音を中心に -

隔月・日曜日 10:00A.M.～5:00P.M.

②黙想と祈りの集い

テゼの歌をうたいながら

③霊操による祈りの集い

指導：長町 裕司師（イエズス会）

毎月第3土曜日 6:00～8:00P.M

II. ①聖書会 …詩編を読む…

毎月第1月曜日 10:00～12:00.A.M

②聖書通読講座

木曜日 6:30～8:30P.M

IX 聖心会黙想の家

場 所：〒410-1126 静岡県裾野市桃園 198 Tel&Fax. 0559-92-2120

祈りの集い（問合せ・申込は聖心黙想の家まで電話/FAXで！）

- 午後のひととき、静かに過ごしてみませんか？

（当日黙想の家の玄関に表示します。）

黙想会のお問い合わせ・お申し込みは：165-0033 東京都中野区若宮3-9-4

若宮共同体 TEL. 03-3337-3291

X. 「内観研究会」代表：藤原直達「心のいほり、内観瞑想センター」福島教会内

〒553-0006 大阪市福島区吉野4-24-15

* 予約相談は、FAX 06.4804.5361. 携帯 090.2401.9374 * 予約が決まれば、さらに詳しく場所、申し込み、諸注意、など送ります。費用全部で5万円

予定表	2000,	5/1 ~ 5/6	関西・精華	5/15 ~ 5/20	戸塚・聖母園
		6/5 ~ 6/10	関西会場 A	6/19 ~ 6/24	茅ヶ崎
		7/10 ~ 7/15	戸塚・聖母園	7/24 ~ 7/29	関西会場 A
		8/7 ~ 8/12	戸塚・聖母園	8/22 ~ 8/26	関西会場 A
		9/11-9/16	茅ヶ崎	9/22-9/28	沖縄
		10/1 ~ 10/7	京都・精華町	10/16 ~ 10/22	茅ヶ崎聖クララ

公開講座 イエスと日本人 「キリスト教と仏教の内観」

場 所：新宿住友ビル48階 朝日カルチャーセンター（受付は4階）

朝日新聞の～化活動 朝日カルチャーセンター

〒163-0204 新宿区西新宿 2-6-1 TEL:03-3344-1941 私書箱22号

日 時：5/15. 6/19 * 毎月月の午前10時より

XI. コングレガシオン・ド・ノートルダム

係・山本 三千子

黙想会：祈りのうちに神の呼掛けを聴きませんか。 TEL(昼間0424-82-8056)

テーマ：自分の招命を考える (夜間0424-82-2012)

日 時：5/20(土) 20:00 (受付19:00) ~ 5/21(日) 16:00

* (5/21(日)は、9:00からでも可)

対 象：20代~30代 未婚女性信徒

指 導：榎本 正之師 (イエズス会)

参加費：2,000 円 (持参品、聖書、筆記用具、洗面道具)

申込み：5/18(木)までに 下記へ

一日黙想会

テーマ：和解 (赦しの秘跡)

日 時：6/18(日) 10:00 ~ 16:30. (受付 9:30 ~)

対 象：男女、年齢を問わず、信徒、求道者の皆様

参加費：2,000 円 (お弁当代を含む)

持参品：聖書

申込み：6/11(日)迄に。

シスター秋山

黙想係 シスター白田

場 所：〒182-0034 東京都調布市下石原3-55

TEL(0424-82-2012)

コングレガシオン・ド・ノートルダム

FAX(0424-82-2163)

京王線調布駅南口より徒歩15分 ~ 20分 . タクシーで5分

大いなる神のみこころいと固く我は誓いぬそむくまじ

とぞ



マリア安達留子達稿集

萩の歌より

上野毛、宇治、大分

カルメル会 聖テレジア修道院（黙想）

聖テレジア修道院（黙想）は、カルメルの靈性を体験し深めたい方のためのものです。黙想会、研修会、練成会などに御利用下さい。個人でも団体でも御利用頂けますが、必ず事前に御連絡の上、お申し込み下さい。なお、詳しい御問い合わせは、下記へお願いいたします。

※☎158-0093

東京都世田谷区上野毛2-14-25

☎ : 03-5706-7355

FAX : 03-3704-1764

東急大井町線：「^{かみのけ}上野毛駅」下車徒歩7分

※☎611-0002

京都府宇治市木幡御蔵山39-12

☎ : 0774-32-7016

FAX : 0774-32-7457

京都駅よりJR奈良線：「^{みくじぞう}六地藏駅」下車徒歩15分

京阪バス：六地藏の町並バス停より^{おくらやま}御蔵山行きに乗り

「西住宅バス停」下車徒歩5分

※☎870-1152

大分市上宗方1800-3

☎・FAX共：0975-41-4012

大分駅～バスで18分、大分川を渡って^{あかし}明礪橋を右折

男子跣足カルメル修道会

『カルメル』のご案内

季刊誌「カルメル」（今日の靈性）は、年間5回、春・夏・特集（四旬節講話）・秋・冬に発行され、本年春号で296回目の発行となりました。2000年春号の内容と執筆者のご案内をさせていただきます。

聖体＝キリストの過越の神秘(44)＝高橋重幸師（トラピスト会）
神に逆らう者への対処の仕方－詩篇36＝兩宮慧師（真生会館聖書センター）
「テサロニケの信徒への手紙二」に学ぶ(12)＝石川康輔師（サレジオ会）
祈り(2)－自己認識と祈り＝チプリアノ・ボンタッキョ師（カルメル会）
何故、あなたを愛するか、おゝマリア！（8）＝パロ・アロイシ師（カルメル会）
謙遜（一）＝Sr.伊従信子（ノートルダム・ドゥ・ヴィ会、上智大学助教授）
日本の神学を求めて(39)＝奥村一郎師（カルメル会）
エーミールと探偵達＝村上博子氏（日本文芸家協会会員）
聖ヨゼフ＝Sr.伊従信子（ノートルダム・ドゥ・ヴィ会、上智大学助教授）
マリスト会とその靈性＝ジョン・ウォルッシュ師（マリスト会）
ガビエルの信仰－神への信頼(3)＝小平卓保師（鹿児島純心女子大学教授）

皆様のご購読をお待ちしております。

年会費 3000円（送料共）
（上野毛教会、在俗者会集会で受取り希望の方は、2100円）

購読御希望の方は、下記①②いずれかの方法でお申込み下さい。

記

- ① TEL・FAX(03-5706-8356)で、カルメル誌事務局（竹田）に。
- ② 郵便振替で、00190-4-195457 跣足カルメル修道会の口座に住所、氏名、電話番号、新規購読と明記の上、ご送金下さい。

カルメル誌事務局長 新井延和 神父

今、神を考える

講師 カルメル会修道司祭 奥村 一郎

<講座のねらい>

物質の氾濫は精神の荒廃をもたらす、といわれる。そうした状況の中では、いかがわしい宗教や教祖があらわれて社会的混乱をもたらすが現代日本は、まさにその状況にある。

真の神、真実の信仰とはおよそ縁遠い世俗的欲望にとりつかれた偽宗教があらゆる処にはびこっている。怖るべきことである。「宗教の時代」といわれる二十一世紀に入ったわたしたちは、ここで、真の神とは、真の信仰とは、という問題について共に考えてみたい。

(講師・記)

<講師紹介> 奥村 一郎 (おくむら・いちろう)

1923年生まれ。東京大学法学部政治学科及び同大学文学部宗教学科卒業。ローマのカルメル会国際神学院卒業後、フランスのアンジェ・カトリック神学大学で、神学博士課程修了。現在カルメル会日本管区長。ローマ法王庁諸宗教対話評議会顧問。著書に「祈り」「断層」他がある。

日 時 2000年5月20日、6月3日 全2回

土曜日 13:00~15:00

受講料 会員 5,000円 一般 5,600円 (入会金不要)

受講料には消費税5%が加算されます

場 所 新宿住友ビル48階 朝日カルチャーセンター (申し込みは4階受付)



朝日新聞の文化活動 朝日カルチャーセンター

〒163-0204 新宿住友ビル内 私書箱22号
東京都新宿区西新宿2-6-1 TEL. 03-3344-1945 (直)

お 願 い

投稿くださるときには、だいたい、次のようにしていただけますと幸いです。

1. 締 切 り 毎月10日
2. ①各グループの 目的 或いは 主旨
②月間 或いは 年間予定：研修、黙想など具体的計画
③随想、こぼれ話など。「断想」「陽あたり」とか小題をつけて
④その他 自由ニュースをお送りください。
3. ワープロ。 なお、手書きの場合は早目にお送りください。
4. 原稿が長い場合、編集段階で選択したり、数回に分けて掲載させていただく場合があります。お赦してください。
5. 寄稿連絡は星野正道神父宛てにおねがいします。

-
- ・ニュース（霊性センターニュース）をご希望の方は 中尾豊子宛 に郵送御希望の月数分の220円切手又は現金を送ってください。（これには封筒代等が含まれています。）

中尾 豊子 〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台 3-15-5

☎045-941-3566

あ と が き

「霊性センターニュース」も奥村神父様の時代以来、常に変わらぬご理解とご支援をいただき心から感謝申し上げます。今後もこの小さな種が皆様の暖かなご協力のもとに、すこやかに成長していくようお祈りください。

なお、“一口一円”の呼びかけで始まった献金も、神様の御手の中で大きな助け手、働き手となってきています。ご協力、本当にありがとうございます。

喜びと悲しみ、日々の小さなことがらを通してイエス様が働きかけ、共に生きてくださいますように、お祈りいたします。

カルメル会霊性センター

星 野 正 道